

博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程
博士学位論文審査委員会

主 査 篠崎 道彦

審査委員 桑田 仁

審査委員 前田 英寿

審査委員 鈴木 俊治

審査委員 久保田 徹

*審査委員

氏 名	Teoh Mei Yee
論文題目	Climate-Led Urban Landscape Planning: A Simulation Data-Driven Analytics, Design and Decision-Making Process for Ipoh, Malaysia
<p>〔論文審査の要旨〕</p> <p>2021年7月29日15:00・17:00に最終審査会を実施した。申請者および審査委員3名は豊洲キャンパス、審査委員2名は同時にオンラインで参加した。</p> <p>論文はマレーシア・イポアの歴史的市街地を対象に、熱環境の改善につながる都市景観のデザインプロセスを開発、試行、提案することを目的としたもので、全9章の構成である。第1章から第3章では研究の位置づけを述べ、文献レビュー、熱環境解析の手法検討と共に、微気候と景観デザインを相互に連携させた空間評価を実行するための環境を構築した。第4章から第6章では、緑化手法のパターンと、景観保全等を考慮した都市デザインのシナリオを設定し、微気候の解析にもとづく快適性の改善度を比較し、計画案の効果的な組み合わせと計画実施の優先度を検討した。さらに第7章では周辺地区の緑化が対象地区のコアエリアにどのような熱的影響を及ぼすかどうかを明らかにした。第8章で、本論で提示した、気候問題への対応をデザインプロセスに組み込む枠組みを再整理し、その重要性、新規性を考察した上で、最終章で各章の成果をまとめ、本研究で開発、試行、提案した枠組みは、ケーススタディにおいて熱環境の評価を組み込んだ都市景観デザインのプロセスとして機能し、実用化に向けたひとつの成果であることを示した。</p> <p>審査会では、前半の約1時間、上記の内容および予備審査後の修正点について申請者が説明を行い、後半の約1時間を質疑応答に費やした。発表、予備審査での指摘事項への回答および審査会の質疑応答を通して、総じて予備審査の段階と比べ、博士論文として相応しいレベルに改善されたとの評価が得られた。加えて、リサーチギャップについての議論、都市デザイン、環境工学それぞれの専門分野において、さらに取り組むべき課題についてアドバイスがなされた。</p> <p>最後に各審査委員が評価シートを用いて採点した結果、審査委員全員の評点が合格基準を満たしており、最終審査合格と判定された。</p>	